



伊予エリア

Iyo area

伊予市の中心部・伊予エリアは、自然も商店もある便利なまち。
若い人が営むおしゃれなお店もたくさんあれば、おじいちゃん、
おばあちゃんが昔から続けられている老舗店もあり、ほどよくミックスされている。
郡中、南山崎、北山崎、南伊予、エリアごとに、
見える景色や雰囲気も少しずつ違っている。
話してみると、住んでいる人たちが自分の場所に
誇りを持っていることが伝わってくる。
全部ご紹介させていただきたいけど今回は、
昔なつかしい商店街が残る郡中のまちをご紹介します。



Iyo

There is an old shopping street that still remains in the Iyo area. Long-standing businesses like a butcher shop, a bakery, and a store that sells malted rice (a delicious staple in Japanese cooking) are still going strong.

Iyo 03 相原商店
あいばらしょうてん

大手の削り節工場がある伊予市だけど、ここ相原商店がつくる削り節はちょっと違う。原料となるあじ節の骨抜きや天日干しを手作業で行い、昭和30年式削り節機のカンナ刃を毎日調整して職人が丁寧に削る、「むろあじ」の削り節が1番人気。昔ながらの製法にこだわっているため、一度食べるとその味わい深さのとりこになること間違いなし。



Iyo 05 宮岡こうじ店
みやおかこうじてん



量り売りをしてくれる、大正9年創業のこうじ店。おすすめはこうじたっぷりな甘酒。お酒がなかなか手に入らなかった頃、甘酒はみんなを元気にしてくれるご馳走だった。こっくりと甘く、体に染み込む健康飲料。試飲させていただくと、お母さんとおしゃべりも手伝って、すっかり元気がチャージされた。

Iyo 04

篠崎ベーカリー
しのぎきベーカリー



明治25年から続くパン屋さん。一番人気は、「黒糖ミニブレッド」。ほんのり甘く、やわらかい素朴な味。老舗でありながら、新しいことに挑戦し続ける姿勢で、2003年には四国で初めての紅麹入りのパンを製造。ほのかなピンク色の食パンは可愛さだけでなく健康にも良いのだそう。今は、愛媛県特産の「はだか麦」を使ったパンに力を入れている。



Iyo 02

肉の一角
にくのいっしき



「ここのお肉はきれい」と評価されているのは当然。肉を見極め、店内で1枚ずつさばいて、並べている。ミンチ肉にも上質な肉しか使っていないから、一度買うとほかの店では買えないという人もいるほど。コロッケや焼豚など手づくりのお惣菜も名物！お母さんの笑顔がとってもチャームで癒される。



格子が美しい古民家の「のれん」をくぐり、長い中庭を通ると、そこは素敵な雑貨屋さん。もともと織物や氷菓の商売をしていた歴史を持つこのお屋敷を残すために、雑貨屋さんをスタートした。オープンは1ヶ月のうち、8日間だけ。その日に合わせて、いつも新しい企画をしているそう。

Iyo 06

an'patisserie 七日
あんぱていすりー なのか

「生館」のさまざまな可能性を知ってもらいたい。そんな気持ちから誕生したパティスリー。餡とチョコのテリーヌや、パウンドケーキ、ロールケーキは、一見普通の洋菓子だけど、どこかにさりげなく餡が使われている。イートインスペースがあり、伊予市特産品の「唐川びわ葉茶」と一緒にいただける。



Iyo 07

つたや旅館
つたやりょかん

かつて地域一番の材木商だったという、森寅三さんのお屋敷を活用した旅館。レトロチックなタイルづかい、金箔・銀箔を使ったふすまや屏風、船床天井、らんまなど、建築好きにはたまらない昭和初期の建物。個室や相部屋のドミトリーなど18名まで宿泊できるほか、イベント会場としての部屋貸しも行っている。



あの人に会いたい、あの人から買いたい。
心あたたまるお買い物のおまち。

地 方の商店街というところ、ほとんどのお店がなくなっているイメージだけど、郡中にある商店街のお店はとっても元気で、多くの老舗専門店が残っている。お豆腐屋さんにお肉屋さん、お魚屋さんやこうじ屋さん、パン屋さんにお菓子屋さん。スーパーに行かなくても、この街を少し歩けばなんでもそろってしまおう。「なぜ、ここには古いお店がたくさん残っているのでしょうか？」素朴な疑問を街の人に尋ねてみると、「お互いに買い合って、支え合っているのよ！そうでもないけど、スーパーに負けちゃうでしょ。いくら自然がたくさんあっていい街だったとしても、それだけじゃ足りない。商店街に魅力があるかどうかって、とっても大切なことだと思ってる」とのお答え。

一箇所でなんでもそろって便利なスーパーもいいけれど、「あの人に会いたいから、あのお店に行く」そう思わせてくれるお店と出会えるまちだ。そのほかにも、まちの魅力を再発見する「まちなか観光体験ツアー」や、だしの文化を学び合う「だし楽の会」など、地元の人を講師にしたいろいろな勉強会も頻りに開催されていて、まちのことを知り、もっと良くしたいという意気込みが伝わってきた。ここには心あたたまる人との交流が残っている。

The best way to visit this area is to park your car and walk around. You will see many exquisitely charming old buildings that still remain.

